

活動報告書

団体名：相模原こもれび

活動場所	木もれびの森 活動地B地区			記録者	平野和夫
活動日時	令和3年7月28日(水) 9時～11時30分			天候	晴れ
参加者	安達、伊藤、内間、神谷、小松、白川、杉山、田中、中尾、野々村、平野、本田、松浦、目黒一玄、奈奈枝、体験：高橋			計16名	
活動内容	森林整備作業				
使用道具	刈払い機、手鎌				
機器操作者	刈払い機			チェーンソー	
	安達、内間、神谷、白川、杉山、中尾、野々村、平野、本田、目黒				
区域	B地区オルガノ側	B地区こぶし広場周辺	C地区		
作業内容	下刈り	下刈り			



4年ぶり下刈りでジャングルになった活動地。絡み付く蔓、アズマネザサ、育った小木、林内に放置された伐木材が作業効率を落としている。



アズマネザサをこんなに大きく育ててしまい申し訳ない限りです。



散策する人が気持ちよく歩けるように……



つらい作業の後には笑顔がこぼれます。後ろは下刈りが終了した区域。

<p>次回の予定 定例活動</p> <p>8月14日(土)：活動地整備</p>	<p>報告事項・トピックス</p> <p>●B地区住宅地～オルガノ側（ミズキ除伐地区）の下刈りを行ないこの区域の作業が本日終了した。</p> <p>●B地区こぶし広場周辺の下刈りを機械と手鎌で行った。</p> <p>2017年以來4年ぶりの活動地内部の下刈りになり、繁茂した蔓、アズマネザサ、小木に行く手を阻まれ作業の効率が上がらない。一方で今年6月に下刈りしたB地区住宅地～オルガノ側の内部は昨年にも下刈りして間を空けなかったため、比較的楽に作業ができた。このことから毎年1回の下刈り作業の実施が必須であろう。そのために関会会員で抛出可能な下刈り能力(人工) x (時間) とそれに見合った作業面積の整合化が重要であると改めて感じさせられた。</p>
<p>○当面の予定 定例活動</p> <p>8月25日(水)</p>	
<p>●イベント</p> <p>8月1日(日) ジュニアボランティア</p>	